

◆日本共産党の見解を紹介します。

http://toride.jcpweb.net

メール jcp.toride@blue.ocn.ne.jp

◆ご意見、ご要望をお寄せください。

明るい取手

2013年4月14日(日)

発行:日本共産党取手市委員会

取手市井野3-19-6 TEL.72-7816

生活のお困りごとなどお気軽にご相談を

- 高木晶市委員長/TEL:74-2004
- 加増みつ子市議/TEL:74-8154
- 遠山ちえ子市議/TEL:83-8290
- 鈴木きよし市議/TEL:74-8160
- 関戸 勇市議/TEL:78-0500

取手駅西口開発 公有地売却

談合疑惑、裁判へ

市民7人が、藤井市長らに5900万円の弁済求め提訴

4月8日、小泉真理子元市議、宇野木紀代子元市議、高木晶元市議を含む市民7人が、藤井信吾市長、貴名功二副市長、市担当職員(当時)2人の計4人に、総額5900万円を取手市に弁済することを求め水戸地裁に提訴しました。

取手市が2012年1月、医療モール建設用地として市内の医療機関に約1億2000万円で売却したJR取手駅西口脇の公有地約1300平方メートル(うち市有地は約450平方メートル約4200万円)について、市の裁量権を逸脱、乱用して適正な実勢価格に比べて著しく安く売却し市に損害を与えたなどとして、前市議の小泉真理子さん(67)ら7人が8日、藤井信吾市長を相手取って、同市長と貴名功二副市長、市担当職員(当時)2人の計4人に、総額5

900万円を市に弁済するよう求める住民訴訟を水戸地裁に起こした。

訴えによると、同じ街区内で1平方メートル当たり16万5000円、約17万5000円で売却した事例があつたにもかかわらず、9万1000円とあまりにも大きな差の不動産鑑定評価がなされたほか、用地売却先を公募した際の応募期間をわずか9日間しか設けず、事前に情報を業者以外が公募に参加することを困難にしたなどとしている。

さらに、まだ公募が行われていない11年4月の市長選の街頭演説で藤井市長は、医療モール建設業者として実際に用地を購入した市内の医療機関名を挙げたほか、医療モールがどのような設計になるかも分からない同年8月の段階で、同モールの地下駐車場の進路建設を検討しており「事前の打ち合わせ・談合があつたことを証明している」などと主張している。

同用地を市が2.5倍盛土したことについて「地下駐車場の進路建設をすることを前提に行われたものであり、事業者が自らの費用で施工すべきものであつて市が費用負担する必要はない」などと述べている。

小泉さんらは今年1月8日、5900万円の弁済を求め市に監査請求した。3月8日に棄却されたのを受けて住民訴訟を提訴した。

提訴について藤井市長は「まだ訴状が届いていないのでコメントできない。訴状の内容を見て対応を検討したい」などと述べている。



「常陽新聞」(2013.4.9付)より転載

記事全文は左記

医療モールを建設している民間業者に売却した土地面積

市有地 /458.33m²
 県有地 /840.88m²



本図は市の資料を基に「明るい取手」編集部が作成

文中の太字表現は「明るい取手」編集部によるものです。



筑波山

「取手駅西口開発」に平成25年度の1年間で
19億8000万円の税金が使われます。
 記事は裏面です。

一人で悩まずに お電話を
 生活相談・労働相談／弁護士無料法律相談
TEL.72-7816

パワーハラスメント、あなたの職場は大丈夫ですか。

厚生労働省が2012年に実態調査を実施し、結果を12月にマスコミに公表
「職場のパワーハラスメントに関する実態調査」の報告書から

パワーハラスメントの発生状況／実際に過去3年間にパワーハラスメントに関する相談を1件以上受けたことがある企業は回答企業全体の45.2%で、実際にパワーハラスメントに該当する事案のあった企業は回答企業全体の32.0%であった。一方、従業員に関しては、過去3年間にパワーハラスメントを受けたことがあると回答した者は回答者全体の25.3%であった。企業に寄せられるパワーハラスメントに関する相談について、当事者の関係を見ると、「上司から部下へ」、「先輩から後輩へ」、「正社員から正社員以外へ」といった立場が上の者から下の者への行為が大半を占めている。

教育・福祉・暮らし…への施策は貧しく

多くの地方自治体の現状は、人口の減少、高齢化の進行、少子化、生産年齢人口の減少などきびしい状況です。こうした状況を打開する道筋をしっかりと立てることが求められています。

しかしながら取手市は税収減を理由に、福祉、教育、子育て支援、地元業者への支援など暮らし応援のあらたな施策は貧しく、市民に負担増をおしつけています。その一方で「駅前開発」と称して、多くの市民がのぞんでもいない「ウェルネス・タウン」・「箱モノ」・建設に巨

前年比
3倍

「取手駅西口開発」に平成25年度の1年間で19億8000万円の税金が使われます。

額の税金を投入しています。

平成25年度の駅西口特別会計予算（取手駅西口開発費）は、実に前年3倍の約20億円におよんでいます。このような逆立ちした市のやり方はもうゴメンです。今、必要なことは生活優先の拡充施策です。

人口減少
不況
無策…

平成25年度一般会計予算
総額 340億3000万円
(主な歳入)

税収減

■市民税 144億1817万9000円

昨年度より3億6621万円減 (2, 5%減)

・個人市民税 納税者 1.72%減 予算額 3.95%減

・法人市民税 事業所 3.89%減 予算額 4.74%減

ご存知ですか 今すすめられている計画です



事業者が提案した医療モールイメージ図

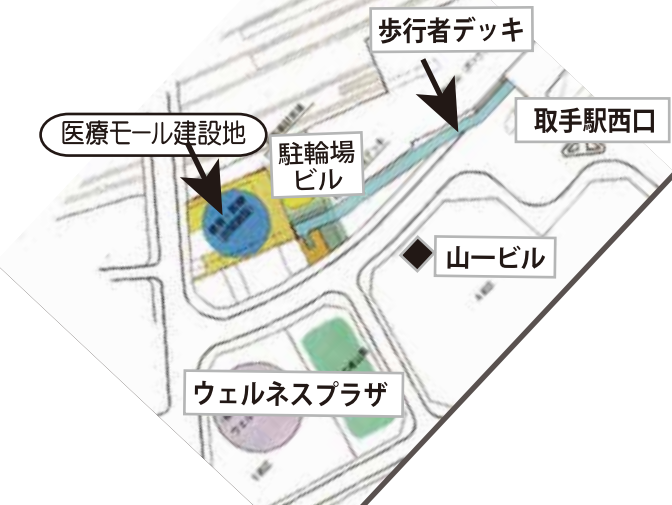


市民のみなさんから、「取手駅西口開発・『ウェルネスタウン・取手』」について知りたい。市の情報だけではわからない」と問い合わせが現在でも多く寄せられています。

取手駅西口土地区画整理事業

平成5年開始～いつ完了するかは？

事業費総額 177億円 (基盤整備費だけで)



取手駅西口土地区画整理事業の一部

ビル1棟の移転補償費

7.0億円



山一ビル

■ 駅西口正面を区域とするA街区内のビル(上図・山一ビル)部の区画整理予算約7億円が計上されています。この予算は、移転補償費(ビル解体費、ビル再築費、営業補償費…等)です。

注/本記事の事業費は市議会、市資料で明らかにされたものです。その後、事業契約、土地取得等費用の確定したものが、総事業費額は多少の変更が出ています。

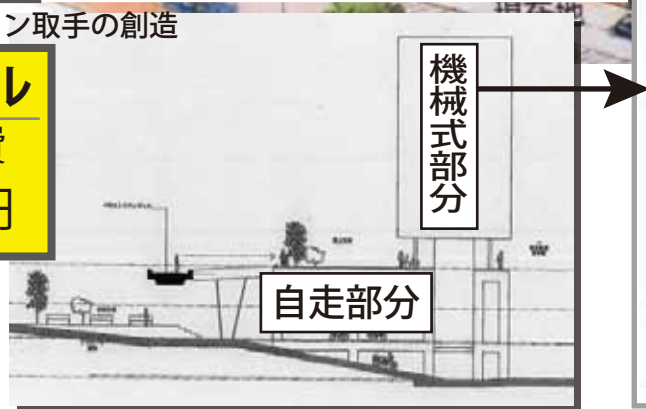
ウェルネス・タウン取手の創造

ウェルネスプラザ
建設事業費
12億円

■ 昨年7月に「ウェルネスプラザ」計画案へのパブリックコメントが実施され、180件の意見。反対する意見が8割を超え、賛成意見は約10%。市はこれを無視し、強引にすすめています。

ウェルネス・タウン取手の創造

駐輪場ビル
建設事業費
5.6億円



■ 利用者減少すると予測しながら、それでも「駐輪場ビル」を新設…信じられない？

市の説明によれば、「取手駅西口周辺にある駐輪場を1カ所に集中させる。新設する『駐輪場ビル』は今後、利用者は減少することを考慮し、「自走式」(全体の約5割)部分の建築物は、10年後には他の利用に用途変更する」としています。

将来には利用者が減るとわかっているのに、「豪華」なビルがどうして必要なの…。

ウェルネス・タウン取手の創造

歩行者デッキ
建設事業費
7.7億円

1メートル当たりで653万円…

駅西口
デッキ
(既設)

(幅4m、長さ118メートル)

医療モール(民間)

■ 民間「医療モール」につなぐ歩行者デッキ…だれのために？

「歩行者デッキ」は取手駅西口デッキから「医療モール」(民間事業者が建設中)に接続するというもの。「歩行者デッキ」建設の目的はどこにあるのでしょうか。

ウェルネス・タウン取手の創造

取手駅東西自由通路 建設事業費 17億円

現在、具体的なものは明らかされていません。